

変 更 指 示 書

東京学芸大学(大泉他)附属大泉小学校体育館等改修機械設備工事

令和8年度

変更内容一覧

工事名: 東京学芸大学(大泉他)附属大泉小学校体育館等改修機械設備工事

[illegible]

東京学芸大学（大泉他）附属大泉小学校体育館等改修機械設備工事

I 工事概要

1. 工事場所 東京都練馬区東大泉5-22-1 / 東京都東久留米市永川台1-6-1

2. 完成期限 令和 9 年 1 月 15 日（金曜日）

3. 建物概要

建物名称	大泉小学校体育館	特別支援学校体育館	
工種	—	—	
構造	S造	S造	
階数	1階	1階	
建築基準法による	建築面積 (㎡)	832m2	400m2
	延べ面積 (㎡)	832m2	400m2
消防法施行令別表第一の区分	(7) 項	(6) 項	
改修面積 (㎡)	600m2	400m2	
備考	—	—	

4. 工事種目（●印の付いたものが対象工事種目）

建物別及び屋外	工事種別		
工事種目	大泉小学校体育館	特別支援学校体育館	
●空調と設備	一式	一式	
○換気設備			
○排煙設備			
○自動制御設備			
○衛生器具設備			
○給水設備			
○排水設備			
○給湯設備			
○消火設備			
●ガス設備	一式	—	
○雨水利用設備			
○			

5. 指定部分 ●無 ○有 対象部分（指定部分工期 年 月 日）

6. 概成工期 ●無 ○有 令和 年 月 日（曜日）
[第1編1.1.2] [第1編1.1.2]

7. 設備概要（●印の付いたものを適用する）

方式及び種別	設備概要
空調方式	●ガスヒートポンプ式パッケージエアコン ●電気ヒートポンプ式パッケージエアコン
自動制御方式	○電気式 ○電子式 ○デジタル式
給水方式	○高置タンク方式 ○
排水方式	建物内の汚水と雑排水（○合流式 ○分流式） ポンプ排水 ○有（○汚物 ○雑排水 ○湧水） ○無 排水槽 ○有（計画容量 ㎡） ○無 建物外放流先 （1）汚水 ○直放流下水管（2）雑排水 ○直放流下水管
消火設備の種類	○屋内消火栓設備 ○スプリンクラー設備 ○泡消火設備 ○連結散水設備 ○連結送水管 ○不活性ガス消火設備（）
ガスの種類	●都市ガス（種別 13A、高位発熱量、低位発熱量 供給圧力 Pa、一般ガス導管事業者名） ○液化石油ガス

II 工事仕様

1. 共通仕様

（1）文部科学省発注工事請負等契約規則（文部科学省訓令第二十二号）別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、図面16枚及び本特記仕様書3枚によるほか、●印の付いたものを適用する。
●公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）
●公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
●公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「標準図」という。）
●文部科学省機械設備工事標準仕様書（特記基準）（令和7年版）（以下「文科仕様書」という。）
●工事写真撮影要領（令和5年9月）

（2）建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
—なお、建築工事の特記仕様書は建築図、電気設備工事の特記仕様書は電気図による。

2. 特記仕様

（1）本特記仕様書の表記

1）項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。

2）項目に記載の〔第 編 . . . 〕内表示番号は、標準仕様書の該当項目番号を示す。

3）項目に記載の〔第 編 . . . 〕内表示番号は、改修標準仕様書の該当項目番号を示す。

4）項目に記載の<第 編 . . . >内表示番号は、文科仕様書の該当項目番号を示す。

●一般共通事項

○適用区分

●電気保安技術者
（第1編1.3.2）
[第1編1.3.2]

○施工条件
（第1編1.3.3）
[第1編1.3.3]

●発生材の処理等
[第1編5.1.1 ~2]

●環境への配慮
（第1編1.4.1）
[第1編1.4.1]

特記事項

（1）第3種電気主任技術者以上の資格を有する者 ●
（2）1級電気工事施工管理技術士資格を有する者 ●
（3）高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者 ●
（4）旧電気工事技術者検定規則による高压電気工事技術者の検定に合格した者 ●
（5）公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高压試験に合格した者 ●
（6）第1種電気工事士の資格を有する者 ●
（7）2級電気工事施工管理技術士資格を有する者 ●
（8）第2種電気工事士の資格を有する者 ●
（9）短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者 ●

工事用電力を機外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

発生材の処理は、下記による。

（1）引渡しを要するもの
1）品 名
2）引渡し先
3）集積場所
4）集積方法

（2）特別管理産業廃棄物
1）品 名
2）処理方法

（3）現場において再利用するもの
1）品 名
2）使用場所

（4）再生資源化するもの
1）品 名

（5）その他の発生材
1）品 名：がれき類（コア抜き）、機器梱包材等
2）処理方法：収集運搬業者へ委託

（1）本工事中において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和7年1月閣議決定）」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

（2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く）が添加されていない材料を使用する。
④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

●機材の品質等
（第1編1.4.2）
[第1編1.4.2]

（1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、適宜有すべき品質及び性能を有するものとする。

（2）下表に機材名が記載された製造業者等は、以下に指定する事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。
ただし、以下に指定する事項を評価されたことを示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。
●品質及び性能に関する試験データを整備していること。
●生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
●安定的な供給が可能であること。
●法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
●製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
●販売、保守等の営業体制を整えていること。

機材名	
・ガスヒートポンプ式パッケージエアコン	
・電気ヒートポンプ式パッケージエアコン	

監督職員の行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。

機材名	検査	試験	備考
空調機器	●	○	
	○	○	
	○	○	

事前調査 ●本工事 ○別途
調査内容
調査項目 ●既存資料調査、現地調査—
調査範囲 ○図示 ○工事対象範囲
調査方法 ○図示 ○目視

下記の職種及び作業に適用する。
○配管（配管工事）
○建築板金（ダクト製作及び取付）
○熱絶縁施工（保温工事）
○冷凍空調と機器施工（チリングユニット等の据付け及び整備）

下記の施工部分は、監督職員の検査・立会い・検査に伴う試験を受ける。

施工部分	検査	立会	試験	備考
空調機器・配管	●	○	○	
	○	○	○	
	○	○	○	

工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。

名称	体裁等
●完成図	CADデータ（電子納品）及び電子データ
○—	原図 ○A1版（—部） ○A3版（—部）
○—	複写図製本（A4版黒厚紙表紙金文字入）（2部）
●—	複写図製本 ●A1版（1部） ●A3版（2部）
●保全に関する資料	●紙媒体（2部） ○電子データ
●工事写真	●紙媒体（1部） ○電子データ

※紙媒体はA4版ファイル綴じ、電子データはPDF形式とする。
電子納品は次による。
（1）貸与する設計図CADデータの著作権者：国立大学法人 東京学芸大学
ファイル形式：JWW
貸与条件：貸与するCADデータを本工事中における施工図又は完成図以外に使用しないこと。
（2）電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。
（3）電子成果品は、提出前にウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。
（4）提出方法及びファイル形式は以下による。
CADデータ：JWW、DXF及びPDF
提出方法：CD又はDVDに保存し、1部提出する。

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

図面に特記なき場合は、工事区分表による。

換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。

●50Hz ○60Hz

（1）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。
（2）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。

●本工事 ○別途
調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。）
○風量調整 ○水量調整 ●室内外空気の温湿度の測定
○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音の測定 ○飲料水の水質の測定
○雑用水の水質の測定 ○

●総合試運転調整
（第2編1.5.6）
[第2編1.6.7]

●足場その他
（第2編4.1.1）
[第1編2.2.1]

●埋め戻し土・盛土
（第2編4.2.1）
[第2編4.2.1]

●建設発生土の処理方法
（第2編4.2.1）
[第2編7.1.1]

●耐震措置

（1）ステンレス鋼管の接合は、下記による。
○呼び径60Ss以下（〇SAS322を満足した継手 ○）
（2）溶接部の非破壊検査 ○不要 ○要（）
フレキシブルジョイントを備える配管は、適正な面間寸法が保持できるよう施工し、その寸法を記録保存する。
（1）地中埋設標 ●要（図示による） ●不要
（2）埋設表示テープ ●要（排水管を除く） ○不要

○配管
（第2編第2章）
[第2編第2章]

●地中埋設標等
（第2編2.7.1~3）
[第2編2.7.1~3]

○絶縁継手
（第2編2.2.12）
[第2編2.4.1]

●試験
（第2編2.9.1~5）
[第2編2.9.1~7]

●保温
（第2編3.1.1~6）
[第2編3.1.1~4]

○塗装
（第2編3.2.1）
[第2編3.2.1]

○天井仕上区分

●電線類
（第2編4.7.1）
[第2編4.7.1]

○監視・制御システムのサイバセキュリティ

●既存躯体への穿孔
[第2編6.2.1]

●別契約の関係受注者が設置したものは無償で利用できる。
○本工事で設置する。（空調配管平面図参照）
○内部足場（移動式足場） ○外部足場（枠組み足場）
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり据置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行う。

●根切り土の良質土 ○山砂の類
以下にの配管は、管の周囲に山砂の類を施す。
○
●構内敷きならしとする。 ○構外に搬出し、適切に処分する。

設備機器の固定は、次によるほか、すべて建築設備耐震設計施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。
（1）機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の重量[kN]（水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度					
	機器種別	○特定の施設		●一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器 水槽類	2.0	2.0	2.0	1.5
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器 水槽類	1.5	1.5	1.5	1.0
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器 水槽類	1.0	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2~6階建の場合は最上層、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階・1階を除く各階で上層階に該当しないもの。
・水槽類にはオイルタンクを含む。
・重要機器は次による。
〔名称：、記号：〕〔名称：、記号：〕
〔名称：、記号：〕〔名称：、記号：〕
〔名称：、記号：〕〔名称：、記号：〕
〔名称：、記号：〕〔名称：、記号：〕
〔名称：、記号：〕〔名称：、記号：〕
（2）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。
（1）ステンレス鋼管の接合は、下記による。
○呼び径60Ss以下（〇SAS322を満足した継手 ○）
（2）溶接部の非破壊検査 ○不要 ○要（）
フレキシブルジョイントを備える配管は、適正な面間寸法が保持できるよう施工し、その寸法を記録保存する。
（1）地中埋設標 ○要（図示による） ●不要
（2）埋設表示テープ ●要（排水管を除く） ○不要

図示の位置に取り付ける。

既設配管を含む部分の試験 ●要（方法及び圧力：は公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）ならびにメーカー指定による）
○不要

標準仕様書第2編によるほか次による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。
○多湿箇所は下記による。
室名
○共同構内の保温種別は下記による。
ダクト：
配管：
次の露出配管は、塗装又は記載の仕上げとする。
○屋外：○ドレン管（○指定色塗装 ○）
○金属電線管（○溶融亜鉛メッキ仕上げ〔付着量300g/㎡以上〕
○指定色塗装）
○屋内：○金属電線管（○溶融亜鉛メッキ仕上げ ○指定色塗装）
（）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
電線はエコマテリアル仕様とする。
外部ネットワークと接続する制御システム
○あり（対象設備：） ○なし
外部ネットワークと接続する箇所の不正アクセス防止対策
○ファイアウォール ○統合脅威管理（UTM）
盤・キャビネットの錠の鍵
○製造者の標準鍵
○鍵の指定あり
対策機器（○監視盤 ○自動制御盤 ○）
はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に下記の方法により埋設物調査を行い、監督職員に報告する。
○走査式埋設物調査 ●放射線透過検査

特記事項

訂正

業務名称

東京学芸大学（小金井他）附属小金井小学校体育館等改修設備設計業務

工事名称

東京学芸大学（大泉他）附属大泉小学校体育館等改修機械設備工事

図面名称

特記仕様書（1）

作成年度

令和8年度

縮尺

NS NS A1 A3

図面番号

特-01

機器表 (GHP系統)

使用機器	ガス栓・接続具
GHP20馬力×2	20Aネジコック(WP II型)・強化ホース接続

記号	管 種	記号	管 種
KS	白ガス管	TM	鋳鉄管
KC	カー鋼管	PE	PE管
PLS	PLS鋼管	FP	フレキ管
PLP	PLP鋼管	PL	PL鋼管

凡例	
名称	記号
新設ガス配管	————
既存ガス配管	-----

修正箇所
本管より取り出し

50APEホース用バルブ
26型レギュレーター(A)

修正箇所

アスファルト舗装こわし・復旧

マイコンメータ16号取付
GHP用
(基礎不要)

15A分岐コック(メータ用)

GHP20馬力
3.80m3/h(6.51m3/h)

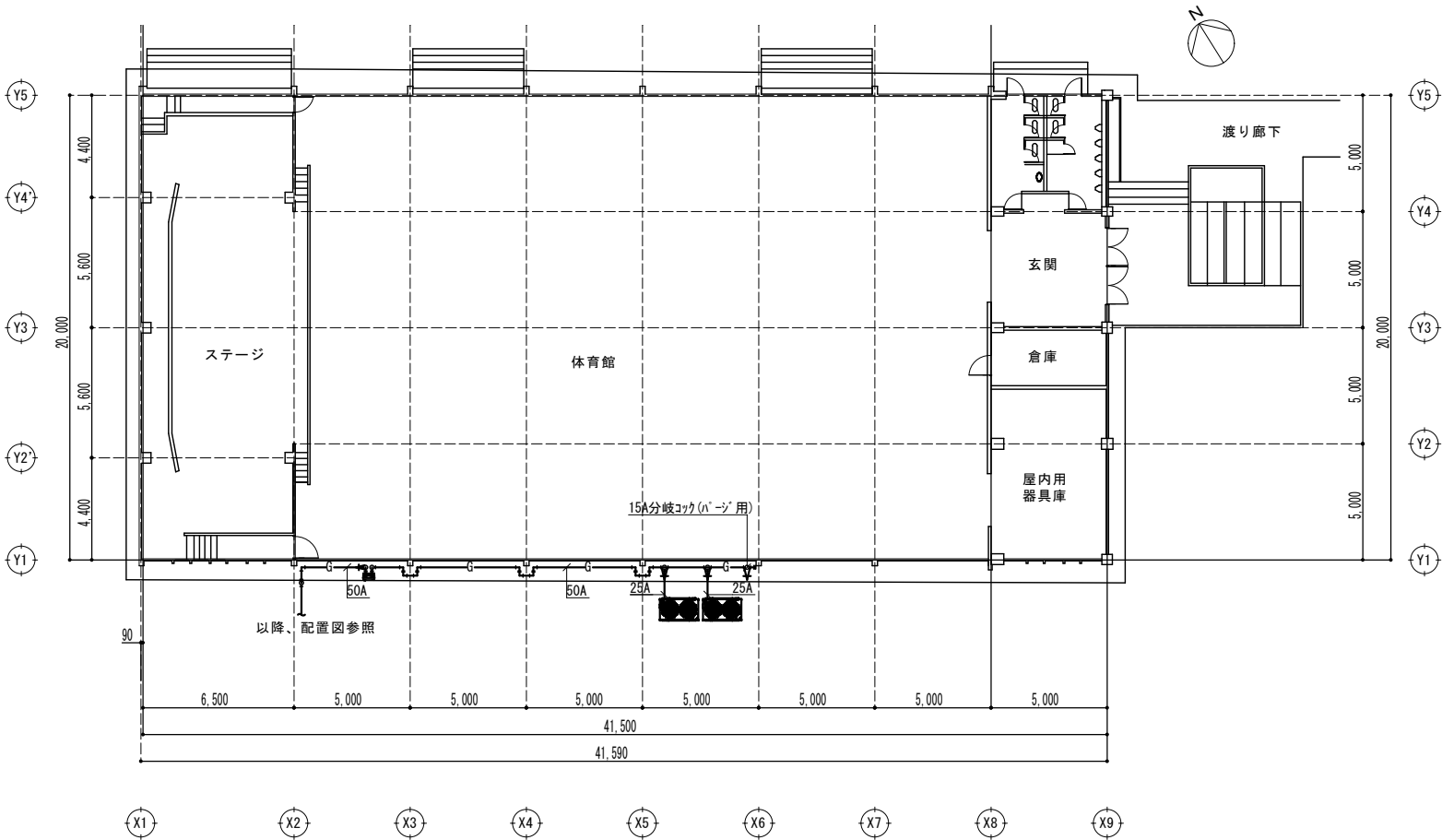
GHP20馬力
3.80m3/h(6.51m3/h)

追記箇所

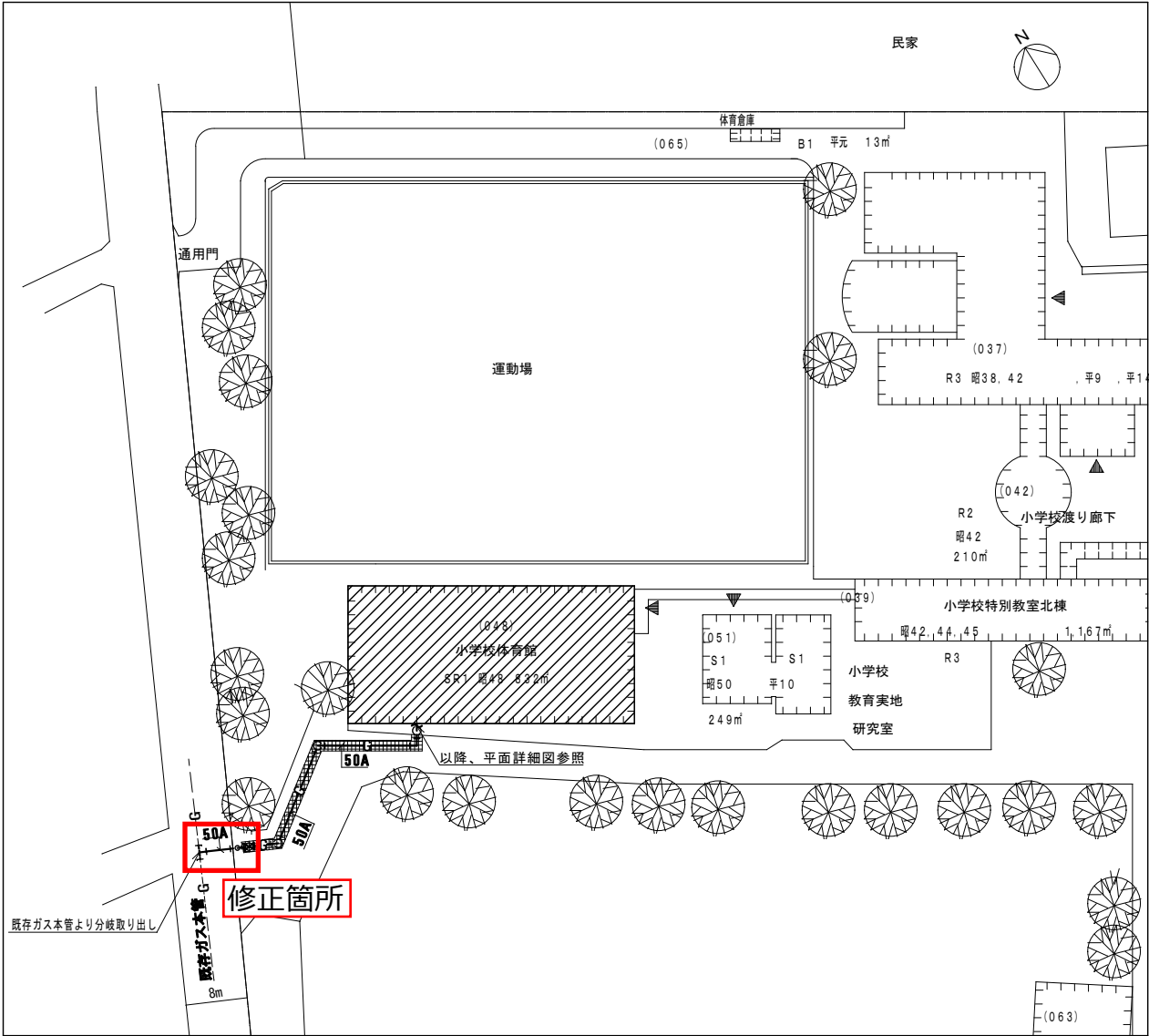
注記：本管取り出しからボールバルブまで（ボールバルブは含まず）の配管工事、アスファルト撤去復旧工事は本工事外とする。

特記事項		SHOW-TECH PROFESSIONAL TECHNIQUE 株式会社ショウテック一級建築士事務所	業務名称	工事名称			
訂正			東京学芸大学（小金井他）附属小金井小学校体育館等改修設備設計業務	東京学芸大学（大泉他）附属大泉小学校体育館等改修機械設備工事			
-				図面名称	作成年度	縮尺	図面番号
-				附属大泉小学校 体育館 ガス設備 アイソメ図	令和8年度	NS NS	A1 A3
-							M-07
-							

凡例		
名称	記号	仕様・材料
新設ガス配管	—G—	ガス配管種についてはアイソメ図を参照のこと
既存ガス配管	---G---	ガス配管種についてはアイソメ図を参照のこと
		 アスファルト撤去復旧範囲、根切り埋戻し範囲



1階平面図



配置図

追記箇所

注記：本管取り出しからボールバルブまで（ボールバルブは含まず）の配管工事、アスファルト撤去復旧工事は本工事外とする。

特記事項	
訂正	



業務名称 東京学芸大学（小金井他）附属小金井小学校体育館等改修設備設計業務	工事名称 東京学芸大学（大泉他）附属大泉小学校体育館等改修機械設備工事			
	図面名称 附属大泉小学校 体育館 ガス設備 平面図	作成年度 令和8年度	縮尺 1/150、1/500 A1 1/300、1/1000 A3	図面番号 M-08